

平成29年3月14日

民間資金等活用事業推進委員会 第6回 計画部会

清水 博

1. 「先進的事例の創出」と「裾野の広がり」を車の両輪として推進
2. 先導的事業（水道コンセッション事業等）に挑戦する地方自治体に対する国による集中的・強力なサポートの継続。
3. 水道については、①官民連携と広域連携の同時推進、②中長期の事業見通し策定、③緊密な官民対話機会、等が重要。
4. 優先的検討規程に基づく事業進捗を一覧性ある形で随時公表
5. 地域活性化、まちづくり等の施策と PPP/PFI 推進施策の融合、相乗効果の追求（手段としての PPP/PFI 手法の活用）
6. PPP 事業化を契機として民間主体によって創出された地域経済の活性化効果（派生的、事後的取り組みも含む）について、分かり易く情報発信（集客効果、インバウンド、企画運営力、イノベーション（IOT等の活用）、機動性・柔軟性等）

以 上